

資料

中学校制服の改訂に関する、知多管内の動き（南知多町教委まとめ）

	改定の時期	新制服の概要	備考
常滑市	R6年度から	別紙資料を参照	移行期間は3年間（R8年度まで）
半田市	R5 4月より	別紙資料を参照	現行の制服と併せ、「選択肢を増やす」という発想。したがって移行期間は設けない。
東海市	R6年度から	・ブレザースタイル、スラックス・スカート・キュロット ・シャツは各校で定める	現行の制服（詰襟学生服、セーラー服）は残し「第3の制服」として扱う。
大府市	R5 4月より	別紙資料を参照	移行期間はR9（2027）年度まで
知多市	未定	委員会の設置を検討中	—
阿久比町	未定	—	—
東浦町	R5.9月改訂を目指す	未定	現行の制服に「追加」する扱い
武豊町	未定	—	情報収集中 今年度アンケートとる方向で検討
美浜町	未定	—	—

【常滑市】

2022/03/24 愛知県 知多版

中学制服ブレザーに

常滑市教委方針、24年度から

常滑市教委は二十三日、市内にある四つの中学校の制服に二〇二四年度から男女兼用のブレザーを導入する方針を発表した。

「性差にとらわれない多様性に対応する」として昨年七月、児童生徒約三千六百人と保護者ら約二千八百世帯を対象にアンケートを実施。市教委によると、回答者のうち児童生徒の61・7%、保護者の70・6%が

現在の学生服とセーラー服をブレザー化することに賛成した。

学校関係者や保護者らが昨年十一月に設けた検討委員会で議論を重ね、変更を決めた。導入から三年間は新旧どちらの制服も選べる移行期間とする。性的少数者(LGBTQ)に配慮し、ストラックスやスカートなどのポトムスは男女問わず自由を選べるようにする。デ

【半田市】

2022/04/19 愛知県 知多総合

半田市立中 新制服に1票

マネキン小中学校回る

来春から導入される半田市立中学校の新たな制服について、最終候補からデザインを決める「総選挙」が、市内の小中学校で始まった。「有権者」となる子どもたちからは「後輩のことも考えて投票したい」との声も上がる。

選挙は今日十四日、有願、花園の両小学校からスタート。来月十七日までの間、マネキンが市内の全小中学校十九校(分校含む)を二日間ずつ回る。投票するのは小学五、六年生と中学生、および小中学校の職員、計約五千八百人。制服の最終候補は三パターンあり、ブレザーの色やポトムスの柄、柄の大きさなどがそれぞれ異なっている。青山中学校では十八日、昇降口近くの廊下にマネキンが並べられ、生徒たちは近づいて

総選挙「後輩のことも考えて投票したい」

たり、時に手で触ったりしながら一票を投じる先を選んだ。三年の亀井ゆとりさん(四)は「縦線が入ると足が細く、シュッと見て見るとか。そういうかっこよさを重視した。成田光一さん(四)、森田紗矢さん(四)は「(来春卒業のため自分には着る機会がないもの)いつかこの制服を着る後輩やきょうだい、親戚のことも考えて投票する」と話す。

新デザインは、総選挙での票数を取りまとめ、六月上旬に公表される見通し。この日投票した青山中の生徒たちからは「今後投票する学校でも、性別関係なく着られること、誰にでも似合うことなどを重視して投票してくれたら」と話していた。(高田みのり)

総選挙での投票先を決めるため、3パターンの制服を見比べる生徒たち。半田市の青山中。



半田の中学新制服 紺ブレザーに

半田市の市立中学校で来年4月から導入される、新しい制服のデザインが決まった。市内の児童生徒らが票を投じる「総選挙」で、最終候補3案の中から、紺色のブレザータイプが選ばれた。新制服の胸部分にあしらわれる「エンブレム」は現在、市内の各中学校で公募、選定中。今夏には新制服の完成形、がお披露目されそうだ。

新制服は紺色のブレザータイプ。ボトムスはチェック柄で、スラックス、スカート、およびキュロットの3種類ある。市では、生徒が幅広い選択肢から選ぶ

ことができ、かつジェンダーや気候の変化にも対応できる「新制服」の導入を検討。各中学の生徒会で作る「生徒会サミット」で出た意見や、児童生徒および保護者へのアンケートなどをもとに、新制服のデザイン3案を提示した。市内小中学校では、今年4月中旬～5月中旬、小学5、6年と中学1～3年、教職員ら約5000人が投票する「総選挙」を行っていた。

新制服では、左胸に各校で異なるエンブレムがあしらわれる予定。デザインは生徒から広く募り、現在、各校でデザイ

新制服に決定したデザイン。紺色のブレザーで、ボトムスはチェック柄をしている



ン案の募集または最終候補への絞り込み作業を実施中だ。今月後半に小学5～中学3年生の投票で決定し、早くて7月ごろに発表される。(高田みのり)

「総選挙」で決定 夏にも披露

(第3種郵便物認可)

各中学のエンブレム (左から半田、乙川、亀崎、成岩、青山) と、全校共通のボタンデザイン



半田の中学制服 エンブレム決定

半田 キツネ 乙川 半田のH 亀崎 カメ 成岩 ヒマワリ 青山 大樹

来月四月から新たな制服が導入される半田市立の中学校で、制服にあしらう各校ごとのエンブレムが決まった。在校生からアイデアを募り、児童生徒による「選挙」を実施した。決定したエンブレムは、学校や地域のシンボルにちなむデザインなどさまざまに考案した生徒たちの個性が光る。半田、乙川、亀崎、成岩、青山中の各校は、生徒からデザイン案を募集。最終候補として二～五案に絞り込んだ後、在校生と、進学予定の小学五、六年生が投票して決めた。

半田中は中央にキツネ、そのそばには同校が位置する岩滑地区の美景、ヒガンバナが咲く様子を描いた。「双鳩祭」と呼ばれる学校行事にちなみ、上部には二羽のハトをあしらった。

乙川中は、「半田市」をアルファベット表記にした際の頭文字「H」が中心のデザイン。考案した生徒は

「シンプルの方が親しまれやすい」と思い、スッキリ仕上げた」と言う。

二匹のカメと桜の花びらを描いたのは亀崎中。考案した生徒によると「二生懸命に進むカメのように、つらい時も前に進む」「桜のようにたくさんの友人が集まり、仲良くする」との思いを込めたという。

成岩中は、ヒマワリに囲まれたキツネと、奥に赤レンガを描いた。卒業式などにヒマワリが飾られ、文化祭名の由来にもなるなど、同校のシンボル花であるヒマワリを取り入れた。

大樹を用いた青山中のデザインも、同校の中庭にそびえるシンボルツリーが由来だ。五校で唯一、色を使わず、黒と白の二色でシンプルに仕上げた。

市学校教育課は「子どもたちが自分の学校のことをどんなふうと感じ、考えているのかが分り、ほほ笑ましかった」と話す。

エンブレムは、新制服であるブレザージャケットの左胸にあしらわれる予定。これまでに全中学共通のボタンデザインも決まっている。(高田みのり)

大府の中学制服来春変更 保護者に不安

おさがり着られるの？



大府市は来年四月から中学校の制服を現行の学生服、セーラー服からブレザーに変更する。ただ、知人らから譲り受けた制服の使用を検討する世帯など、一部の保護者には不安も広がる。今の制服が着用できる「移行期間」や、新制服の価格といった細部が示されていないためだ。市の校長会は本紙の取材に、移行期間を「〇二七年度までとする方針を初めて示した。

(栗山真寛)

保護者、子どもたちの投票も参考に、中央のデザインに決まった新しい制服（ネクタイ、リボン未定）＝大府市役所で

市内で三人の子育てをするシングルマザーから本紙生活部に寄せられた投書では、折からの物価高と絡めて「前からの制服なら兄弟、知人などからのおさがりで用が足せるが、新しくなるようではそれができない」と記されている。

これとは別に、市内の生活困窮世帯を支援している子育て支援サークル「あそびのいっば」の大橋房代表によると、支援している二十世帯のうち五世帯が来春、中学への進学を予定している。例年は、夏休みまでに中学で必要な物品一式を届けているが、今年は制服について保護者たちが戸惑っているという。

ちた特報
ニュースのつぼ

市校長会、取材に方針「27年度までOK」

「できれば新しい制服を着せてやりたいが、価格が分からない」「移行期間がどれだけあるのか分からないので、結局在学中に新しい制服を買うことにならないか」などの声が寄せられている。

新しい制服については市内四中学校の校長会が主導し、昨年五月に校長やPTA関係者らでつくる制服検討委員会の初会合を開き、検討を重ねてきた。

本紙の取材に対して検討委の委員長を務める大府北中学校の蟹江敏広校長は「新旧の制服が着られる移行期間を令和九（二七）年度まで設ける」と初めて明かした。今の中学一年生が卒業後、その制服を譲り受けた学年が卒業するのが二七年度、という根拠だ。完全に切り替わる二八年度には、譲り受けた制服を利用する需要にも十分対応できそうだ。

価格については、生地や機能性の違いで複数の価格帯を設定し、いずれも現行品の価格帯の中に収まる予定だという。検討委のメンバーには保護者の代表もいることから、価格面や「おさがり」にも留意して議論してきたという。

校長会は一学期中に、中学校の担当者や制服業者が出向いて、市内各小学校の保護者向けに新制服の説明会を開く。